

# ともいき

第 52 号

発行日 令和 8 年 1 月 1 日  
発行 社会福祉法人 友愛会  
〒990-2317 山形市みはらしの丘四丁目15番地3  
TEL (023) 687-1016  
FAX (023) 688-8018  
URL <https://yuuai-kai.or.jp/>  
印刷 コロニー印刷 (山形福祉工場)



ともいき

立場が違えば

思いが違う

違う思いを

話し合い

違う立場で

手を握る

# 多様社会におけるジェンダーと福祉

評議員 マリ クリステイヌ

近年、想定外の災害が続き続けています。

2020年7月、集中豪雨で熊本の球磨川が氾濫した時に読んだ記事が今も記憶に残っています。激しい雨で氾濫が予想され避難勧告が出たのですが、大勢の見知らぬ人がいる初めての場所ではパニックを起こす障がいのある子どもを持つ母親が、避難を諦めて子どもと一緒に自宅に残ったという記事です。幸いこの親子は無事でしたが、母親の不安さを思うと心が痛みます。この話はほんの一例ですが、災害が発生した時、小さな子ども、寝たきりや認知症などを発症した高齢者、障がいのある方のいる家庭では、世話を担う女性が、避難時には大変な苦勞を強いられます。

その状況を反映しているのか、災害時の女性の死者数は男性を上回るということが普遍です。阪神淡路大震災でも、東日本大震災でも、スマトラ島沖地震でも女性の死者数が男性を大きく上回っていることが報告書に記載されています。

しかし女性は、長く続いてきた性別役割分業の中で、男性よりも家にいる時間が長く、ケアギバー(Caregiver)として乳幼児や子ども、高齢者の世話を担っており、緊急災害時に避難が遅れることが、死者数が多い一因だと思えます。女性、特に母親が自分のことを後回しにして家族のことを優先させるといふ状況「Mother last」は世界中どの国にも

共通しています。

前述した災害の死者の中には、地震や津波による死者だけではなく、避難生活に負担があり、それが原因の「災害関連死」も含まれています。大きな地震、何度も襲う余震、慣れない暮らしによるストレスや、狭い場所での同じ姿勢が続き健康状態が悪化する、医療機関の機能停止による既往症の悪化等、避難生活が原因で命を落とす人々が相当数います。

災害などの被災者に対する人道支援活動を行う各種機関や、個人が現場で守るべき最低基準として「人道憲章と人道対応に関する最低基準」という国際基準(略称スフィア基準)があります。スフィア基準には人間の生命維持に必要な水の供給量、食糧、避難所一人当たりの最小占有面積、トイレの設置基準等が詳しく定められています。この基準によると避難所の女性トイレは男性トイレの3倍必要と規定されていますが、残念ながら日本では一人当たりの必要最小面積やトイレなどはこのスフィア基準を満たしていません。トイレが男女別々になっていないところもあります。女性や高齢者はトイレに時間がかかります。高齢者は夜中に何度も行く人が多いのですが、トイレ事情が悪いために水分の摂取を控え、健康被害に至るといふ悪循環も起きています。避難所では人の目を気にする授乳や着替え、下着を干す場所などの場がなく、

女性にとっては負担が大きいことも指摘されています。

また、災害時は不安が増長するために家庭内暴力(DV)なども増える傾向が見られます。避難所での様々な形の性暴力の存在なども、災害後の報告書では必ず報告されています。実際に、過去には国内でも認知症の高齢者やその家族、自閉症や発達障害の子どもを抱えた家族、来日して間もない外国人などが避難所に受け入れてもらえないことが起きたという報告も残っています。

大災害の度に同じような事が繰り返されているという状況を、私たちはしっかりと認識する必要があります。そして、それを改善していくために防災への意思決定機関への女性の参加が重要だと私は考えます。女性の目は「生活者の目」です。想定もできない大災害が起きた時に、避難所での暮らしには何が必要か、子どもや高齢者、障がい者への配慮のために何が重要か、日頃の生活や経験から多くの知恵を持っています。実際に私は様々な被災地で女性たちが立ち上がり、本当に必要な支援を展開して多くの人々のために役立っているのを見てきました。女性の参加が必要不可欠です。女性の力を活かすことで社会の中の多様な人々の人権が守られる世の中が実現することを心から望みます。

長年にわたり、地域における障がい者の方々の自立支援に尽力され、この度受賞された中村晃枝さんに心よりお祝い申し上げます。

## 令和7年度の表彰者

- 山形県社会福祉法人経営者協議会表彰 8名
- 全国身体障害者施設協議会 永年勤続表彰 3名
- 山形市総合社会福祉大会 永年勤続表彰 9名
- 全国社会福祉協議会会長表彰 6名
- 山形県 県民福祉大会会長表彰 4名
- 社会福祉功労者に対する県知事表彰 13名

## 感謝祭 2025 Voyage de yuuai

10月11日(土)開催された感謝際には、110名を超えるお客様に会場いただき、大盛況でした。2026年も盛大に楽しくやりましょう♪



## 「信頼を育てるリーダーの伝え方」管理監督職(主任以上)研修

今年度、管理監督職(主任以上)に該当する職員を対象に、山形市男女共同参画センターより産業カウンセラーの方を講師にお招きし、「信頼を育てるリーダーの伝え方」というテーマで、職場やチーム内で相談され、動いてもらえるコミュニケーション術について講義をしていただきました。講師のGreen&heart代表 齊藤ひろ美氏は、産業心理カウンセラー、メンタル心理カウンセラー、上級心理カウンセラー等の資格を持ち、組織内コミュニケーションを得意とされ、各企業等で研修をされています。また、本の執筆やタレント業など、マルチな才能で幅広い分野で活躍されています。



研修は実践やグループワークを中心とした構成で行われ、大変好評でした。働きやすい職場にするためには、職員を育成する環境を整える。このことを意識して、当法人では、職級に応じたさまざまな研修を通じて、職員の成長とチーム力の向上を支援してまいります。

## 社会福祉法人友愛会 令和7年度 上期苦情報告会

	苦情	意見	要望	相談	合計
処遇・対応	24	1	5		30
医療ケア					
生活環境	1				1
年金等管理					
制度・法律					
その他	1		2		3
計	26	1	7		34

● 受付数及び内容

## インドネシアより施設訪問

当法人で働いている職員の卒業校であるインドネシアの大学関係者の皆さんが「みはらしの丘」を視察され、介護現場や外国人職員の働き方を紹介しました。施設の見学と意見交換を通じて理解を深め、「雰囲気伝わった」「参考になった」と好評の声が寄せられ、大変有意義な交流の時間となりました。



今年度の秋祭りは、施設内でプロジェクトクーターを使用しながら開催となりました。毎年恒例の家族会様より美味しい芋煮の提供、また焼き鳥やアイスのキッチンカーに来ていただき、皆様大変喜んでおられました。

インドネシア出身の職員の余興や職員によるマジックショーを楽しみ、最後に利用者の皆様とご家族、職員みんなで「幸せなら手をたたこう」を合唱し、楽しい時間を過ごしました。

～行事委員会～

# すげさわ!! 秋祭り 2025



せいーのあー!  
かんばーいっ!



軽快なトークで、みなさんの心を驚掴みっ♡  
すげさわの丘、名物? マジックショー!!  
優雅で華やかな踊り!! おもわずうっとり♡



## ☆～県スポー in 天童総合スポーツセンター～☆



この度、山形県障がい者スポーツ大会に3名の選手が出場。日頃の練習の成果を存分に発揮し、力強いプレーを見せてくれました。参加者全員が、スポーツの楽しさと感動を共有し、会場は活気に満ちていました。皆様の温かいご声援、誠にありがとうございました。

～リハビリ委員会～

※今回は…  
市スポはクマ対策のため中止になりました( ;ω; )…残念  
来年、開催時にはみなさん応援にきてくださいねっ♪ 待ってますー!!



## ～出前交流～ 活動状況報告～



出前交流ですげさわ公民館を会場としてポッチャを行いました。初めてポッチャを体験される方も多かった為、最初に職員が実際にやりながらルールを説明して2つのチームに分かれて対戦しました。参加された方々は、作戦を練りながらターゲットを見定め、ボールを投げるたびに一喜一憂してとても盛り上がり、とても楽しい時間を過ごすことができました。今後も楽しみながら健康作りができるような出前交流を行ってきたいと思います。

～日中活動委員会～

## ☆喫茶☆



久しぶりにすげさわの丘恒例の「楽しいクッキング」を開催しました。今回作ったのは皆さんの希望もあり「どら焼き」です。みんなで協力しながら、自分たちで一生懸命作った生地にたっぷりのあんこを挟みました。トッピングに好きな生クリームも追加して皆さん大満足♡

出来立てのどら焼きは最高でした!

～日中活動委員会～



## ☆出前食事☆ 花鳥風月さん えびワンタンメン!!

毎年、  
ありがとうございますー!



美味しいっ♡



10/30人気のラーメン屋「花鳥風月」さんのキッチンカーに出張していただきました! 名物のぷりぷり海老ワンタンを皆で食しました。「つるっ、ふわっ」のワンタンのどごとと上品なスープに「おいしい!」と笑顔が溢れ、大満足の昼食となりました。温かく、おいしい出前をありがとうございました。

～日中活動委員会～



## 障がい者レクリエーション大会



10月4日に開催された障がい者レクリエーション大会に、当施設から利用者様2名が参加しました。競技種目は「輪投げ」と「ディスクゲッター」の2種目。会場の雰囲気に対し緊張した様子も見られましたが、競技が始まると次第に笑顔も増え、楽しみながら取り組まれていました。普段の活動とはまた違った雰囲気の中で、他施設の参加者とも交流し、良い刺激となった様子でした。大会後は、「和風レストランまるまつ」に立ち寄り、ゆっくりと食事を楽しみながら一日の出来事を振り返りました。

## 文化祭



11月12日、文化祭を開催しました。午前中は、インドネシア出身の職員たちによる文化紹介を行いました。職員の皆さんは民族衣装を身にまとい、会場は一気に華やかな雰囲気に。インドネシア文化のお話を伺ったあとは、伝統的なダンスを披露していただき、利用者の皆さまも一緒に体を動かしたり、温かい拍手を送ったりして、会場は和やかな雰囲気に包まれました。午後からは、オリジナルクッキー作りを楽しみました。あらかじめ用意されたクッキーの中から好きな形や味を選び、デコレーションしました。できあがったクッキーは順番に召し上がっていただき、「おいしかったよ」と嬉しそうな声も聞かれ、ほっと和やかな時間となりました。

## 芋煮会



10月22日、家族会行事として毎年恒例の芋煮会を中庭にて行いました。利用者の皆さまにもご協力いただき、ネギを切ったり、きのこを割いたり、手際よく作業される様子が見られ、一緒に作る楽しさを感じられる時間となりました。当日は利用者の皆さまも朝から楽しみにされており、職員の作業を窓から眺める姿も見られました。具材がそろった鍋からは次第に良い香りが立ち、完成を待つ間も笑顔があふれました。出来上がった芋煮はそれぞれの食器に取り分けられ、「おいしい」と笑顔で味わう姿があちこちで見られ、温かいひとときとなりました。

## ゆうあいくらぶ

緑日ごっこ開催!



券と引き換えてポテト Get!

夏はスイカだよ

見て見て~

涼しいよ やっとお散歩できるよ

お部屋の中も楽しんで

秋の日差しが気持ちよかったです

陽の菊まつり

暑かった夏もようやく落ち着き、あつという間に秋の室内での活動も工夫し、みんなでワイワイ楽しみました。緑日ごっこでは、ポテトやフランクフルトのほかき氷やスイカといった夏ならではのものを食べて、はじけるような笑顔です。涼しくなるとやっとお散歩にも行けるようになり、心地いい風と秋の匂いでより季節を感じます。ですがクマさんの出没が増え、思うように散歩に行くことができず…クマさんそろそろ冬眠の準備をしてもらえると非常に助かります。少しずつ冬の足音も聞こえてきますが、冬のイベントも盛り上げて思い出に残るものにしていこうと思います。

## おもちゃドクター大活躍です!

壊れて動かなかったおもちゃや、動くけど動きがおかかったおもちゃなど、次々健康になって戻ってきています。「治してください」と来所してくれるお子さんもおいて、しっかり原因を探って最大限の対応(手術)をしていただいている姿に感動しています。これからも思い出のおもちゃ、お気に入りのおもちゃで遊べるよう力を貸していただけると嬉しいです。よろしくお願いします。

## 新入職員紹介

この度、7月1日付で採用となり、前職も障がい者施設で勤務していらっしゃいました。御縁があり、南陽の里でお世話になることとなりました。まだまだ、慣れないことばかりですが、よろしくお願いいたします。

佐藤 純(看護師)

4月から南陽の里でお世話になっております。色々教えて頂きながら業務にあたっています。寒くなる季節に向けて越冬用の漬物作りをしようと思っておりますが、家族からしよっぱいと言われます。これからどうぞよろしくお願ひします。

小林 友文(看護師)